

●城陽市教育委員会の「キッズスポーツチャレンジ広場～学びの部～（川で遊ぼう！学ぼう）」の感想文をいただいたので紹介します。■楽しかった。1年生。非常に楽しんでいました。ありがとうございました。1年生保護者。■しぜんを感じられて楽しかった。2年生。■楽しかったです。エビしか取れなかったです。2年生。■楽しかった。2年生。■見たこともない魚を見てうれしかったです。2年生。■取るのが楽しかったです。2年生。■貴重な体験ができて良かったです。このような機会を作って下さり、ありがとうございました。2年生保護者。■川や山などの自然の恐ろしさと面白さを体験できると将来のためになると思いました。貴重な機会をありがとうございました。3年生保護者。■大きい魚はなかなか取れないことが分かった。4年生。■どうやったら魚が取れるのか、注意点を教えてくれたのでわかりやすかったです。エビやヤゴ取れて楽しかった。4年生。■川では、初めてしっかりと遊んだ。楽しかった。またやりたい。5年生。■また次も川遊びをしたいです。楽しかったです。5年生。■面白い生き物がたくさんいたので楽しい。5年生。■魚がいっぱい取れたので楽しかったです。6年生。■色々な川の生き物がいて勉強になった。6年生。

●ジャガイモ掘りを実施 7月2日 10時から 100kgの収穫がありました。



6月末に梅雨明けが関東地方に宣言されました。近畿地方も翌日に宣言され猛暑日が続きました。この日も激しく熱い熱中症が心配され、屋外での活動は控えるようにと気象庁から呼びかけられていました。里山の会で事務局会議で水分補給体制を強化することが議論になりました。今年のジャガイモ

掘りは少し遅くなって、植え付けた畝は雑草が大きく生い茂り茎は枯れて見つけられるか心配をしていました。このころは通常だと梅雨の長雨で芋掘りには不向きだったはずですが、真夏日の中での作業でした。芋の収穫だけでは単純な作業になるので、また作業時間も短時間のことなので楽しい取り組みを考え、収穫いもの写生をしていただいて、書き上げた作品を市民文化祭などで発表しては等の準備を、森嶋さんや大村理事長がしてくれました。

●オオムラサキの観察会（夏の生き物観察会） 7月3日



天気予報では3日は終日降雨でとのことで、遠方からお越しいただいている桜谷先生には期待外れになると思われるので、担当の金田さんに相談すると、実行する予定だとのこと、参加予定者からは欠席の連絡が入ってきているようでした。参加は3組13人でスタッフ含めて19人での催しとなりました。8時過ぎには土砂降りでも雷鳴も響いていましたが、9時30分ごろには少雨となり、観察や調査が続けられました。悪天候でも教育棟の大屋根が威力を発揮できました。今年の特徴はトラップで昆虫

を呼び寄せたところ、事前の取り組みでノコギリクワガタが20匹も集まってきました。そして当日にはなんと、ノコギリクワガタが95匹も集まりました。これまでだとカブトムシが数匹でクワガタなどは姿を見つけるのが大変難しいものでした。パイナップル、カルピス、焼酎等のトラップの餌が良かったようです。このことから里山農園の環境はノコギリクワガタにとって非

常に優れた環境であると考えられるのではないのでしょうか。オオムラサキには出会えませんでした。クワガタムシが沢山おり、楽しんでいただけました。7月7日「七夕」になりますので、みんなの願いを七夕にたくすことになりました。それぞれの願いを短冊に書き込みました。桜谷先生からいただいた短冊には右のような願いが書かれていました。



●桜谷先生から名古屋平和公園「自然観察会の記録」2021 号を著者田畑恭子の冊子の寄贈をいただきました。月々毎に公園の生き物や植物の写真などで読みやすい内容に編集されています。閲覧は里山の会事務所にございますのでお立ち寄りください。

●2022 年度の京都府地域交響プロジェクトの申請を終えました。

特に苦労したのは「事業計画書」（概要について）の地域課題であります。幾度も申請文書を提出しましたが、適正ではないと書き直した方がよいだろうと指摘・修正指導をいただきました。地域課題について●自然から学び取る子育てがされていないことは大きな課題●自然学習を推進する場合の指導者や経験者の高齢化が進み、リーダー不足も地域の大きな課題●子育ての若い地域住民は、経験不足から不安があり、川や山に関心があっても踏み出しに躊躇が先立っていることも課題●田畑の開発が宅地化のために開発され、そこにある貴重植物の調査も行われず記録も残さず無造作に進められてきているのもこの地域の大きな課題●その結果、自分たちの住む地域（木津川沿川）がどれほど豊かである地域なのかが次世代の子どもたちに伝えられていなく、正しく伝承されていないという課題につながっている。と整理して申請いたしました。

●今私たちは里山農園で栽培農園として取り組んでいます。その栽培農園の周囲は見渡す限り孟宗竹や淡竹や真竹などの竹やぶが、どんどん拡大しています。ほんの数十年前は谷あいの狭いところまで田んぼにされていまして、今は見る影もありません。そしてその一方多くの道具が石油製品にとってかわられ、使い捨てられて鳥や魚のえさになり、またマイクロプラスチックとなって大きな社会問題、地球環境問題となっています。



そこで小さな取り組みですがプラスチックで作られているサインペンを竹で作れないかと考えまして、今試作品が竹島さんや木下さんの手によって写真のようなところまで作り上げるところまで到達できました。今突き当たっている課題は、竹の寸法きりの道具、それに製品にどのように付加価値をつけるのかというアイデアに悩んでいます。そして何よりも大量生産できるようにする工夫が根底にあります。エジソンの八幡の竹であり、またお水取の竹であり、山城の竹で作れると思っています。プラスチックに挑むささやかな取り組みにお力や知恵をお貸しください。皆様のご協力を期待しています。

●里山農園一斉草刈り 7月9日（土） 朝7時～9時

暑い時期ですので、なるべく涼しい時間にと朝7時からと計画しました。多くのみなさんの参加をお待ちしています。

●夜の生き物調べ 7月16日（土） 17時～22時 集合場所 普賢寺小学校前 16時40分

今年も夜の生き物調べをしますので、ホームページをご覧ください。